

八重瀬町
YAESE TOWN

第2次八重瀬町総合計画

実施計画

令和8年度（令和7年度決算分）

事務事業評価

「サマーレビュー」シート

※画像はイメージです

民生部
社会福祉課

【目 次】

事務事業名	ページ
町社会福祉協議会運営補助金.....	1
町民生委員児童委員連合会運営補助金.....	2
社会福社会館屋上防水界壁雨漏り補修及び室内灯 LED 改修事業.....	3
自殺対策強化事業.....	4

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 社会福祉課					班(係)名		社会福祉介護班	
会 計	一般会計	科 目	3	款	1	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	町社会福祉協議会運営補助金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	八重瀬町における社会福祉事業、その他の地域福祉を目的とする事業を実施する町社会福祉協議会への運営補助金
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	53,863,825		60,668,231	113%	61,466,831	101%	62,449,440	102%	65,429,000	105%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	53,863,825		60,668,231	113%	61,466,831	101%	62,449,440	102%	65,429,000	105%
	従事職員	人	9		9	100%	8	89%	9	113%	9	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	30		31	103%	25	81%	24	96%	24	100%
	正規職員時間外勤務	時間	706		586	83%	688	117%	728	106%		0%

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
運営費補助金交付件数	件	4		4		4		4		4	
		4		4		4		4		4	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
八重瀬町社会福祉協議会職員	人	9		9		8		9		9	
		9		9		8		9		9	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果説明	社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーなどの職員が、複合的な課題や制度の狭間の課題など、深刻な地域の生活課題(困窮、8050問題、ひきこもり、ヤングケアラーなど)について、家族・個人支援を行っている。 R7、R8年度 9人の内1人再任用職員。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	社会福祉協議会職員の人件費にあたる。生活困窮者や課題を抱えた家族や個人の支援を行っている。				
二次評価(行革本部)	複合課題・制度の狭間支援は、地域福祉上の必要性が高く、社協支援は妥当であり、引き続き継続すべき事業と評価できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 社会福祉課					班(係)名		社会福祉介護班	
会 計	一般会計	科 目	3	款	1	項	1	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	町民生委員児童委員連合会運営補助金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	地域住民に身近な相談役を担う民生委員児童委員の活動を支え、地域福祉の推進及び地域の課題解決に資するための運営補助金。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	3,747,000		4,127,000	110%	6,304,000	153%	6,304,000	100%	4,739,000	75%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	3,747,000		4,127,000	110%	6,304,000	153%	6,304,000	100%	4,739,000	75%
	従事職員	人										
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
民生委員児童委員の活動状況(訪問件数 電話や電子メールによるものも含む。)	件	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		1,564	1,438	1,166	855	1,000					
	達成率	104%	96%	78%	57%	67%					
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
民生委員児童委員充足率	名	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54
		45	47	46	40	44					
	達成率	83%	87%	85%	74%	82%					
成果説明	R7年度は町内商業施設5か所にて啓発活動に始まり、顔写真を掲載したチラシを配布した広報活動、学校教育課や社会福祉課との勉強会や県外研修(高知県香南市)等を行い、民生委員児童委員としての資質の向上にも務めることができた。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	地域住民への普及・啓発や、チラシを活用した広報等を通して、充足率 約80%を維持することができている。欠員地区がなくなることで、広く地域住民の困りごとをひろいあげることができる。				
二次評価(行草本部)	地域住民に身近な相談支援の担い手である民生委員児童委員の活動基盤を維持する取組であり、地域福祉の推進に不可欠であることから事業の継続は妥当と判断できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 社会福祉課					班(係)名		社会福祉介護班	
会 計	一般会計	科 目	3	款	1	項	5	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	社会福祉会館屋上防水界壁雨漏り補修及び室内灯LED改修事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町施設である社会福祉会館で経年劣化による箇所を改修し、長期利用を目指す。 R7実績 エレベーター修繕 790,570円 避難誘導等 234,300円(4台) 男子トイレ小便器9,900円 避難誘導等取替 59,950円(1台) LED取替 363,000円(15台) 火災受信機取替修繕 649,000円
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		326,000		2,106,720	646%	541,000	26%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円					326,000		2,106,720	646%	541,000	26%
	従事職員	人					8		9	113%	9	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人					25		24	96%	24	100%
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
社会福祉会館利用者数	人					15,000		16,000		16,000	
						15,517		16,325		16,000	
	達成率					103%		102%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
雨漏り執務室数	室					2		2		3	
						0		0		0	
	達成率					0%		0%		0%	
成果説明	1998年度に建築された。今年度28年目。改修を行うことで、長寿命化を図る。 町内福祉関係者・団体に活用されており、地域住民の福祉増進につながっている。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	社会福祉会館は建設から28年が経過しており、長期利用を目指すために経年劣化による箇所を計画的に修繕する必要がある。				
二次評価(行革本部)	地域住民の福祉活動の拠点であり、町の重要な公共施設である社会福祉会館の安全かつ長期的な利用を可能にするための改修事業であり、その目的は妥当と判断できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	民生部 社会福祉課					班(係)名		障がい福祉班	
会 計	一般会計	科 目	4	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	自殺対策強化事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	自殺対策として「八重瀬町こころの相談窓口」を週に1回実施し、また年に1回役場職員や民生委員、区長、一般住民を対象とした「ゲートキーパー養成講座」を行う。 令和7年度は、県外講師を招き子どもに関わる人をメインにSOSの出し方教育を実施した。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	390,701		390,899	100%	555,756	142%	526,360	95%	701,000	133%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円	195,000		180,000	92%	279,000	155%	272,000	98%	309,000	114%
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	195,701		210,899	108%	277,756	132%	255,360	92%	392,000	154%
従事職員	正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
八重瀬町こころの相談窓口の開設	回	50		45		45		50		50	
		50		52		49		54		50	
	達成率	100%		116%		109%		108%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
相談利用者(延)	名	30		30		30		30		35	
		33		42		42		56		35	
	達成率	110%		140%		140%		187%		100%	
成果説明	地域の実情を踏まえ、自主的に取り組む市町村及び民間団体の活動を支援することにより、地域の特性に応じた効果的な対策を後押しし、地域における、さらなる自殺対策強化を図る。 ・八重瀬町こころの相談窓口(通年:実人数21人/延56件) ・ゲートキーパー養成講座(年1回/参加者数24名/理解度94%) ・SOSの出し方教育(年1回/参加者61名/理解度59%)										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C.【事務事業の総合評価（前年度の方向性）・Achieve(改善力)】									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価 (所管課)	自殺者の減少など自殺対策を実施するためには、対象者が相談しやすい環境、また対象者をキャッチできる人材養成が必要である。役場職員に対するゲートキーパー養成講座の受講をはじめ、各課や局に相談窓口の貼付など、自殺対策に重要とされている全庁挙げた取り組みが出来始めているように感じる。								
二次評価 (行革本部)	自殺対策強化事業は、地域住民の命と健康を守る上で極めて重要な事業であり、その目的は妥当であると評価できます。特に、こころの相談窓口の開設やゲートキーパー養成講座の実施は、地域におけるセーフティネットの構築に不可欠です。								